

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017 年 8 月 3 日(03.08.2017)



(10) 国際公開番号
WO 2017/130923 A1

- (51) 国際特許分類:
A63H 9/00 (2006.01) A63H 3/36 (2006.01)
A63H 3/00 (2006.01) A63H 33/04 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2017/002220
- (22) 国際出願日: 2017 年 1 月 24 日(24.01.2017)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2016-014952 2016 年 1 月 28 日(28.01.2016) JP
- (71) 出願人: 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番
8 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 木本 カオリ (KIMOTO Kaori); 〒1118081
東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株式会社バン
ダイ内 Tokyo (JP). 本 亘平 (MOTO Kohhei); 〒
1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株
式会社バンダイ内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,

BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,
CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG,
ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL,
IN, IR, IS, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC,
LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW,
MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG,
PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG,
SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ,
UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

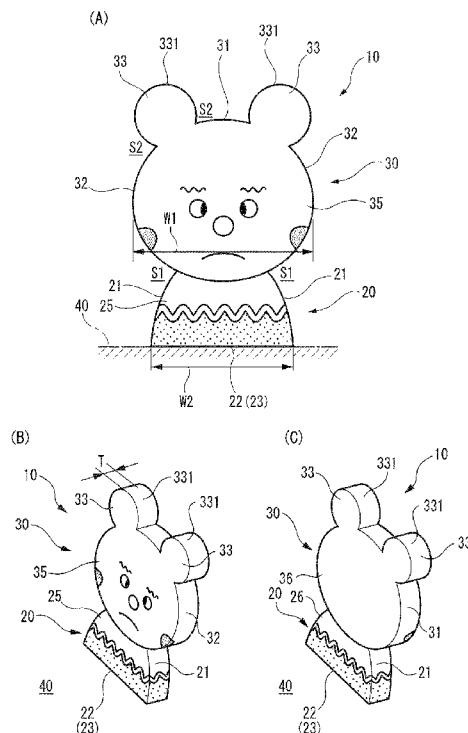
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW,
MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユー
ラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨー
ロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE,
ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC,
MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR),
OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM,
ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: WOODEN FIGURE

(54) 発明の名称: 木製フィギュア



(57) Abstract: [Problem] To provide a wooden figure which may be easily put in a stable upright state, and which has good usability even with small children. [Solution] Provided is a wooden figure, comprising: an erect stance support part 23 which is disposed on a torso part bottom surface (end surface) 22 on a torso part 20 on the opposite side of the torso part from a head part 30, and with which, by mounting said erect stance support part upon a mounting surface 40, an erect stance state may be obtained in which the head part 30 is above the torso part 20; and a horizontal stance support part 24 which is disposed on a torso part lateral surface 21 and either a head part lateral surface 32 or a head top surface 31, and with which, by mounting said horizontal stance support part upon the mounting surface 40, a horizontal stance state may be obtained. It is thus possible to provide a wooden figure 10 which may be easily put in a stable upright state, and which has good usability even with small children. Additionally, the wooden figure 10 may be made to stand in an erect stance state and a horizontal stance state, which may foster increased interest.

(57) 要約: 【課題】安定的な直立状態が容易に得ることができ、幼児にとっても取り扱い性のよい木製フィギュアを提供する。【解決手段】胴体部 20 において頭部 30 とは反対側の胴体部底面 (端面) 22 に設けられ、載置面 40 に載置することにより頭部 30 が胴体部 20 の上方となる正立状態が得られる正立支持部 23 と、頭部側面 32 及び頭頂面 31 のうちの一方と、胴体部側面 21 とに設けられ、載置面 40 に載置することにより横立状態が得られる横立支持部 24 と、を備える。このため、木製フィギュア 10 は、安定的な直立状態を容易に得ることができ、幼児にとっても取り扱い性のよい木製フィギュア 10 を提供することができる。また、木製フィギュア 10 は、正立状態及び横立状態の起立状態が可能になるので、興味性を増すことができる。

明 細 書

発明の名称：木製フィギュア

技術分野

[0001] 本発明は、木製フィギュアに関する。

背景技術

[0002] 従来より、積木等の組立玩具が広く知られている（例えば特許文献１）。

このような組立玩具は、複数種類のうち、輪郭が角形状あるいは矩形状の扁平形状のものがあり、幼児が適宜載置形態を選択したり、複数を積み上げることで興趣性を満たすものとなっている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献１：実開昭６１－１１８３９９号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] ところで、一般に、幼児は、扁平形状の積木が載置面に対して扁平に載置されている場合、すなわち、扁平形状の積木が載置面に対して厚み方向が直交するように載置されている場合、このような積木を載置面に対して厚み方向が平行になるように直立させたいという欲求が生ずることが知られている。

このような組立玩具は、各端面が平坦面であるため、それぞれの端面を載置面に載置させることにより、複数の直立状態が得られる。また、近年の組立玩具では、多様な幼児の興趣性を満たすために、輪郭が曲線のものも提供されている。ところが、このような組立玩具では、端面が円弧面となるため、安定的な直立状態が得難く、幼児にとっての取り扱い性が低いという問題がある。

[0005] 本発明は、上述した事情に鑑みなされたものであり、安定的な直立状態等が容易に得ることができ、幼児にとっても取り扱い性のよい木製フィギュアを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 本発明に係る木製フィギュアは、頭部と胴体部とが一体に成形された扁平形状とされ、前記胴体部において前記頭部とは反対側の端面に設けられ、載置面に載置することにより前記頭部が前記胴体部の上方となる正立状態が得られる正立支持部と、前記頭部における頭部側面及び頭頂面のうちの一方と、前記胴体部における胴体部側面とに設けられ、前記載置面に載置することにより横立状態が得られる横立支持部と、を備える。
- [0007] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部における前記頭頂面に設けられ、前記載置面に載置することにより倒立状態が得られる倒立支持部を備えてもよい。
- [0008] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部における頭部正面及び前記胴体部における胴体部正面が同一平坦面であるとともに、前記頭部における頭部背面及び前記胴体部における胴体部背面が同一平坦面であり、前記頭部における頭部側面及び前記胴体部における前記胴体部側面が互いに異なる曲率の円弧面であるとともに、前記頭部側面及び前記胴体部側面により窪みが形成されるものであってもよい。
- [0009] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部の前記頭部正面に顔面模様が施されているとともに、前記頭部における前記頭頂面、前記頭部正面、前記頭部側面、前記頭部背面のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部に連続した色彩が施され、前記胴体部における前記胴体部正面、前記胴体部側面、前記胴体部背面のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部に連続した色彩が施されていてもよい。
- [0010] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記色彩は透視性を有する塗料により施されていてもよい。
- [0011] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記倒立支持部は、前記頭部における前記頭頂面に設けられた一対の突出部であってもよい。
- [0012] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記各突出部における突出部側面が円弧面であるとともに、前記頭部側面及び前記突出部側面の少なく

とも一部により窪みが形成されるものであってもよい。

[0013] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記突出部側面が前記頭部における前記頭部側面と異なる曲率の円弧面であってもよい。

[0014] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部の幅寸法が、前記胴体部の幅寸法よりも大きくてもよい。

[0015] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部及び前記胴体部のうちの少なくとも一方は、人物、動植物、キャラクターのうちのいずれか1つを模した輪郭形状であってもよい。

[0016] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記頭部の輪郭形状及び前記胴体部の輪郭形状は、他の種類の木製フィギュアにおける頭部の輪郭形状及び胴体部の輪郭形状と異なってもよい。

[0017] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、前記横立支持部は、他の種類の木製フィギュアにおける横立支持部と異なる位置に設けられていてもよい。

[0018] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、他の種類の木製フィギュアと、厚み方向及び厚み方向に対して直交する方向に沿って重畳可能であってもよい。

[0019] また、本発明に係る木製フィギュアにおいては、他の種類の木製フィギュアと、厚み方向に対して直交する方向に沿って前記窪みを介して重畳可能であってもよい。

発明の効果

[0020] 本発明によれば、頭部が胴体部の上方となるように支持する正立状態及び頭部と胴体部とで支持する横立状態が可能なので、幼児にとっても取り扱い性のよい木製フィギュアを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0021] [図1] (A) は本発明の実施形態である木製フィギュアの正立状態を示す正面図であり、(B) は前上方から見た斜視図であり、(C) は後上方から見た斜視図である。

[図2] (A) は本発明の実施形態である木製フィギュアの横立状態を示す正面図であり、(B) は倒立状態を示す正面図である。

[図3] 載置面に平たく載置された木製フィギュアを正立状態に起こす動作を示す斜視図である。

[図4] (A) ～ (C) には、他の種類の木製フィギュアの斜視図である。

[図5] (A) ～ (C) は図4で示した木製フィギュアの正立状態、横立状態及び倒立状態を示す正面図である。

[図6] (A) 及び (B) は異なる種類の木製フィギュアを2線支持で重ねた状態の正面図である。

[図7] 異なる種類の木製フィギュアを3線支持で重ねた状態の正面図である。

[図8] 異なる種類の木製フィギュアを厚さ方向に重ねた状態の平面図である。

発明を実施するための形態

[0022] [本発明の実施の形態] 図1 (A) は、本発明の実施形態を説明するための、木製フィギュアの全体構成を示す正面図である。また、図1 (B) は前上方から見た斜視図であり、図1 (C) は後上方から見た斜視図である。

[0023] 図1に示す木製フィギュア10は、胴体部20を有しており、胴体部20には頭部30が一体的に連結された扁平形状である。胴体部20及び頭部30は、一定値よりも大きな板厚Tを有する(図1 (B) 参照)。ここで、一定値よりも大きな板厚Tとは、後述する正立状態、横立状態及び倒立状態の保持が可能な板厚Tよりも大きいことを意味する。なお、木製フィギュア10は、例えば平板状の木製板材から切り抜いて製造することができるが、製造方法は特に限定しない。

[0024] 胴体部20及び胴体部20に連続して設けられている頭部30は、投影輪郭線の少なくとも一部が凸状の曲線である。胴体部20は、例えば、正面から見て外側に凸の一对の曲線(曲面)からなる胴体部側面21、21と、胴体部側面21の下端部に連続し頭部30とは反対側の端面である胴体部底面22で形成することができる。また、頭部30は、例えば、全体円形とすることができる。

- [0025] また、頭部 30 の輪郭を形成する頭頂面 31 及び左右の頭部側面 32、32 には、一对の耳（突出部）33 が設けられている。耳側面（突出部側面）331 は、頭部側面 32 と異なる曲率の円弧面で形成されており、一部が頭部 30 に埋没した形状となっている。耳側面 331 と頭部側面 32 は、少なくとも一部が凹んで入隅（窪み）S2 となっている。なお、突出部として、耳のかわりに角を設けることもできる。
- [0026] 頭部正面 35 と胴体部正面 25 とは、同一平坦面である。また、頭部背面 36 と胴体部背面 26 とは、同一平坦面である。従って、木製フィギュア 10 は、胴体部 20 及び頭部 30 を同じ板厚 T の材料で形成することができる。あるいは、木製フィギュア 10 の最下面である胴体部底面 22 から頭頂面 31 まで、板厚 T が直線的に変化する材料を用いることもできる。
- [0027] 頭部 30 における頭部側面 32 及び胴体部 20 における胴体部側面 21 は、互いに異なる曲率の円弧面で形成することができる。このとき、頭部側面 32 と胴体部側面 21 とが交わる部分が凹んで入隅（窪み）S1 が形成されている（図 1（A）参照）。頭部 30 の幅寸法 W1 は、胴体部 20 の幅寸法 W2 よりも大きい。また、頭部 30 及び胴体部 20 のうちの少なくとも一方は、人物、動植物、キャラクターのうちのいずれか 1 つを模した輪郭形状となっている。
- [0028] 図 1（A）及び図 1（B）に示すように、頭部正面 35 には、目、鼻、口、眉等の顔面模様が施されており、耳 33 の形状と相まって小熊のような印象を与える。さらに、頭頂面 31、頭部正面 35、頭部側面 32、頭部背面 36 のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部には、連続した色彩が施されている。ここでは、頬の模様が、頭部正面 35 及び頭部側面 32 に連続して設けられている。また、図 1（B）及び図 1（C）に示すように、胴体部正面 25、胴体部側面 21、胴体部背面 26 のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部に連続した色彩が施されている。ここでは、胴体部 20 の下部に全周にわたって模様が設けられている。
- [0029] 頭部 30 及び胴体部 20 に設けられている色彩は、透視性を有する塗料によ

り施されている。このため、木製フィギュア10を形成している材料の木目等が透けて見えるので、材料の特性を生かすことができる。

[0030] 次に、木製フィギュア10の動作について説明する。木製フィギュア10を机や台や床等の上面である載置面40に載置する際に、胴体部底面22を正立支持部23として載置することにより、頭部30が胴体部20の上方となる正立状態が得られる(図1(A)参照)。すなわち、正立状態は、胴体部底面22が載置面40に面接触することにより行われているので、正立支持部23は、一面で構成される。

[0031] また、図2(A)に示すように、頭部30における頭部側面32及び頭頂面31のうちの一方(ここでは、頭部側面32)と胴体部20における胴体部側面21とを、横立支持部24として載置面40に載置することにより、横立状態が得られる。すなわち、横立状態は、頭部側面32を厚さ方向に横切る1本の直線と、胴体部側面21を厚さ方向に横切る1本の直線とが、載置面40に接触することにより得られる。従って、横立支持部24は、2本の直線により構成される。なお、ここでは、胴体部側面21を厚さ方向に横切る直線が、胴体部側面21と胴体部底面22との交線となっているが、胴体部側面21の曲率が大きい場合には、胴体部側面21の途中部分に位置することもある。この場合、頭部側面32と胴体部側面21の共通接線(すなわち、載置面40)が胴体部側面21を支持する位置となる。

[0032] さらに、図2(B)に示すように、頭頂面31に設けられた一对の耳33を倒立支持部34として載置面40に載置することにより、倒立状態が得られる。すなわち、倒立状態は、一对の耳33の頂点を厚さ方向に横切る2本の直線が、載置面40に接触することにより得られる。従って、倒立支持部34は、2本の直線により構成される。

[0033] 図3に示すように、木製フィギュア10を載置面40に載置する際には、頭部30と胴体部20との間の入隅(窪み)S1(図1(A)参照)を指Fで摘んで木製フィギュア10を持ち上げる。このため、木製フィギュア10を容易に指等で把持することができる。

[0034] 次に、本実施形態に係る木製フィギュアの作用、効果について説明する。

本実施形態に係る木製フィギュア１０は、胴体部２

０における頭部３０とは反対側の胴体部底面２２に設けられ、載置面４０に載置することにより頭部３０が胴体部２０の上方となる正立状態が得られる正立支持部２３と、頭部側面３２及び頭頂面３１のうちの一方と、胴体部側面２１とに設けられ、載置面４０に載置することにより横立状態が得られる横立支持部２４と、を備える。このため、木製フィギュア１０は、安定的な直立状態を容易に得ることができ、幼児にとっても取り扱い性のよい木製フィギュア１０を提供することができる。また、木製フィギュア１０は、正立状態及び横立状態の起立状態が可能になるので、興趣性を増すことができる。

[0035] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、頭頂面３１に設けられ、載置面４０に載置することにより倒立状態が得られる倒立支持部３４を備える。このため、倒立状態の起立状態が可能になるので、興趣性を増すことができる。

[0036] また、頭部側面３２及び胴体部側面２１が互いに異なる曲率の円弧面であるとともに、頭部側面３２及び胴体部側面２１の少なくとも一部が入隅（窪み）Ｓ１を形成する。このため、入隅（窪み）Ｓ１を指で摘むことにより、容易かつ確実に木製フィギュア１０を摘むことができる。

[0037] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、頭部正面３５に顔面模様が施され、頭頂面３１、頭部正面３５、頭部側面３２、頭部背面３６のうちの互いに隣り合う複数の面の一部に連続した色彩が施されているので、頭部３０の立体感が得られる。また、胴体部正面２５、胴体部側面２１、胴体部背面２６のうちの互いに隣り合う複数の面の一部に連続した色彩が施されている。このため、胴体部２０の立体感が得られる。

[0038] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、色彩は透視性を有する塗料により施されている。このため、材料の木目が透けて見えるので、材料の特性を生かすことができる。

- [0039] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、倒立支持部３４は、頭頂面３１に設けられた一对の耳３３である。これにより、倒立状態が可能になる。
- [0040] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、各耳３３における耳側面３３１が円弧面であるとともに、頭部側面３２と耳側面３３１の少なくとも一部が入隅（窪み）Ｓ２を形成する。このため、入隅（窪み）Ｓ２を指で摘むことにより、木製フィギュア１０を容易に摘むことができる。
- [0041] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、耳側面３３１が頭部側面３２と異なる曲率の円弧面であってもよい。
- [0042] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、頭部３０の幅寸法Ｗ１が、胴体部２０の幅寸法Ｗ２よりも大きい。すなわち、胴体部２０よりも頭部３０の方が大きくなるので、全体として仮分数（頭でっかち）の状態となり、かわいい印象を与える。
- [0043] また、本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、頭部３０及び胴体部２０のうちの少なくとも一方は、人物、動植物、キャラクターのうちのいずれか１つを模した輪郭形状である。このため、木製フィギュア１０は、かわいい印象を与える。
- [0044] 次に、複数の木製フィギュアを用いる場合について説明する。複数の木製フィギュアを用いて遊ぶ際には、輪郭形状が異なる他の種類の木製フィギュアを用いることができる。このとき、横立支持部を異なる位置に設けることもできる。図４（Ａ）～図４（Ｃ）には、前述した木製フィギュア１０とは輪郭形状及び図柄等が異なる他の種類の木製フィギュアが示されている。
- [0045] 図４（Ａ）に示す木製フィギュア１０Ａでは、頭部３０Ａに設けられている耳３３Ａの形状が前述した木製フィギュア１０の場合と異なり、先端が尖っている。また、一对の耳３３Ａ、３３Ａが離れて設けられている。さらに、頭部正面３５Ａに描かれている顔の図柄が、タヌキのような印象を与える。
- 胴体部２０Ａでは、胴体部正面２５Ａ及び胴体部側面２１Ａに跨って図柄

が設けられるとともに、胴体部正面 2 5 A の中央部には、腹が白色等で設けられている。

[0046] 図 4 (B) に示す木製フィギュア 1 0 B では、頭部 3 0 B に設けられている耳 3 3 B の形状が前述した木製フィギュア 1 0 の場合と異なり、先端が尖っているが、一对の耳 3 3 B、3 3 B が設けられている位置は、前述した木製フィギュア 1 0 と同様である。さらに、頭部正面 3 5 B に描かれている顔の図柄が、ブタのような印象を与える。胴体部 2 0 B は、頭部 3 0 B と比べて非常に小さい。胴体部正面 2 5 B 及び胴体部側面 2 1 B に跨って、丸印の図柄が設けられる。なお、胴体部背面（図示省略）にも同様な図柄が連続して設けられている。

[0047] 図 4 (C) に示す木製フィギュア 1 0 C では、頭部 3 0 C に設けられている耳 3 3 C の形状が前述した木製フィギュア 1 0 の場合と異なり、先端が尖っている。また、一对の耳 3 3 C、3 3 C が接近して設けられている。さらに、頭部正面 3 5 C に描かれている顔の図柄が、キツネのような印象を与える。胴体部 2 0 C では、胴体部正面 2 5 C 及び胴体部側面 2 1 C に跨って図柄が設けられるとともに、胴体部正面 2 5 C の中央部には、腹が白色等で設けられている。

[0048] 図 5 (A) には、図 4 (A) に示した木製フィギュア 1 0 A の正立状態が示されている。正立状態では、胴体部底面 2 2 A を正立支持部 2 3 A として載置面 4 0 に載置する。横立状態では、耳側面 3 3 1 A の一部及び胴体部側面 2 1 A の一部を通る直線を横立支持部 2 4 A とする。従って、頭部側面 3 2 A は載置面 4 0 に接触しない。なお、耳側面 3 3 1 A の一部としては、耳側面 3 3 1 A における接点または耳側面 3 3 1 A の先端点がある。同様に、胴体部側面 2 1 A の一部としては、胴体部側面 2 1 A における接点または胴体部側面 2 1 A と胴体部底面 2 2 A との交点（交線）がある。さらに、倒立状態では、一对の耳 3 3 A、3 3 A の共通接線、あるいは一对の耳 3 3 A、3 3 A の先端を結ぶ線を倒立支持部 3 4 A とする。

[0049] 図 5 (B) には、図 4 (B) に示した木製フィギュア 1 0 B の正立状態が示

されている。正立状態では、胴体部底面 2 2 B を正立支持部 2 3 B として載置面 4 0 に載置する。横立状態では、頭部側面 3 2 B と胴体部側面 2 1 B との共通接線、あるいは胴体部側面 2 1 B と胴体部底面 2 2 B との交点（交線）を通る頭部側面 3 2 B の接線を横立支持部 2 4 B とする。さらに、倒立状態では、一对の耳 3 3 B、3 3 B の共通接線、あるいは一对の耳 3 3 B、3 3 B の先端を結ぶ線を倒立支持部 3 4 B とする。

[0050] 図 5（C）には、図 4（C）に示した木製フィギュア 1 0 C の正立状態が示されている。正立状態では、胴体部底面 2 2 C を正立支持部 2 3 C として載置面 4 0 に載置する。横立状態では、頭部側面 3 2 C と胴体部側面 2 1 C との共通接線、あるいは胴体部側面 2 1 C と胴体部底面 2 2 C との交点（交線）を通る頭部側面 3 2 C の接線を横立支持部 2 4 C とする。さらに、倒立状態では、一对の耳 3 3 C、3 3 C の共通接線、あるいは一对の耳 3 3 C、3 3 C の先端を結ぶ線を倒立支持部 3 4 C とする。

[0051] 図 6（A）には、異なる種類の木製フィギュアを 2 線支持で重ねた状態の一例が示されている。載置面 4 0 に、木製フィギュア 1 0 B を図 5（B）で示される横立状態で載置し、木製フィギュア 1 0 B の上に木製フィギュア 1 0 C を横立状態で重ねた。この場合、木製フィギュア 1 0 B の頭部側面 3 2 B の上に、木製フィギュア 1 0 C の頭部側面 3 2 C 及び胴体部側面 2 1 C が載置されており、2 本の直線により横立状態が保持されている。

[0052] 図 6（B）には、異なる種類の木製フィギュアを 2 線支持で重ねた状態の別の例が示されている。載置面 4 0 に、木製フィギュア 1 0 A を図 5（A）で示される横立状態で載置し、木製フィギュア 1 0 A の上に木製フィギュア 1 0 C を横立状態で重ねた。この場合、木製フィギュア 1 0 A の耳側面 3 3 1 A の上に、木製フィギュア 1 0 C の胴体部側面 2 1 C を載置し、木製フィギュア 1 0 A の胴体部側面 2 1 A の上に木製フィギュア 1 0 C の頭部側面 3 2 C を載置している。この場合も、2 本の直線により横立状態が保持されている。

[0053] なお、ここでは横立状態の木製フィギュアに別の種類の木製フィギュアを厚

み方向に対して直交する方向に沿って横立状態で重ねて２線で支持した場合について例示したが、これに限定するものではない。種々の重ね方で２線支持が可能である。また、複数の木製フィギュアを重ねる際に、入隅（窪み）Ｓ１、Ｓ２を用いることも可能である。

[0054] 図７には、異なる種類の木製フィギュアを３線支持で重ねた状態の一例が示されている。載置面４０には、木製フィギュア１０Ａが正立状態で載置されている。木製フィギュア１０Ａの頭部３０Ａには、木製フィギュア１０Ｂが横立状態で載置されている。木製フィギュア１０Ｂは、３線支持で木製フィギュア１０Ａの上に載置されている。

[0055] ここでは、木製フィギュア１０Ａの頭頂面３１Ａと木製フィギュア１０Ｂの頭部側面３２Ｂが接触し、木製フィギュア１０Ａの耳側面３３１Ａと木製フィギュア１０Ｂの頭部側面３２Ｂが接触し、さらに、木製フィギュア１０Ａの耳側面３３１Ａと木製フィギュア１０Ｂの胴体部側面２１Ｂが接触している。これにより、３本の直線で保持される。

[0056] なお、ここでは正立状態の木製フィギュア１０Ａに別の種類の木製フィギュア１０Ｂを厚み方向に対して直交する方向に沿って横立状態で重ねた場合について例示したが、これに限定するものではない。種々の重ね方で３線支持が可能である。また、複数の木製フィギュアを重ねる際に、入隅（窪み）Ｓ１、Ｓ２を用いることも可能である。

[0057] 図８には、異なる種類の木製フィギュアを厚さ方向に重ねた平積み状態の一例が示されている。まず、載置面４０に木製フィギュア１０を厚さ方向が直交するように載置し、木製フィギュア１０の上に木製フィギュア１０Ｂを厚さ方向が直交するように平積みし、さらに木製フィギュア１０Ｂの上に木製フィギュア１０Ｃを厚さ方向が直交するように平積している。これにより、この木製フィギュアを複数個用いて遊ぶ際や、他の種類の木製フィギュアをも用いる際に、厚み方向に重畳する（積み重ねる）ことができる。

[0058] 次に、本実施形態に係る木製フィギュアを複数用いる際の作用、効果について説明する。本実施形態に係る木製フィギュア１０においては、頭部３０

の輪郭形状及び胴体部 20 の輪郭形状は、他の種類の木製フィギュア 10 A、10 B、10 C における頭部 30 A、30 B、30 C の輪郭形状及び胴体部 20 A、20 B、20 C の輪郭形状と異なってもよい。これにより、色々な遊び方ができる。

[0059] また、本実施形態に係る木製フィギュア 10 においては、横立支持部 24 は、他の種類の木製フィギュア 10 A、10 B、10 C における横立支持部 24 A、24 B、24 C と異なる位置に設けられていてもよい。これにより、色々な遊び方ができる。

[0060] また、本実施形態に係る木製フィギュア 10 においては、他の種類の木製フィギュア 10 A、10 B、10 C と、厚み方向及び厚み方向に対して直交する方向に沿って重畳可能であってもよい。これにより、異なる複数の木製フィギュア 10、10 A、10 B、10 C を容易に積層することができる。

[0061] また、本実施形態に係る木製フィギュア 10 においては、他の種類の木製フィギュア 10 A、10 B、10 C と、厚み方向に対して直交する方向に沿って入隅（窪み）S1、S2 を介して重畳可能であってもよい。これにより、入隅（窪み）を利用して、異なる複数の木製フィギュア 10、10 A、10 B、10 C を容易に積層することができる。

[0062] 本発明の木製フィギュア 10 は、前述した実施形態に限定されるものでなく、適宜な変形、改良等が可能である。

符号の説明

[0063] 10、10 A、10 B、10 C 木製フィギュア 20、20 A、20 B、20 C 胴体部 21、21 A、21 B、21 C 胴体部側面 22、22 A、22 B、22 C 胴体部底面（端面）23、23 A、23 B、23 C 正立支持部 24、24 A、24 B、24 C 横立支持部 25、25 A、25 B、25 C 胴体部正面 26 胴体部背面 30、30 A、30 B、30 C 頭部 31 頭頂面 32、32 A、32 B、32 C 頭部側面 33、33 A、33 B、

33C 耳（突出部）331、331A 耳側面（突出部側面）34、34A、34B、34C 倒立支持部35、35A、35B、35C 頭部正面
36 頭部背面40 載置面S1、S2 入隅（窪み）W1 頭部の幅寸法
W2 胴体部の幅寸法

請求の範囲

- [請求項1] 頭部と胴体部とが一体に成形された扁平形状とされ、 前記胴体部において前記頭部とは反対側の端面に設けられ、載置面に載置することにより前記頭部が前記胴体部の上方となる正立状態が得られる正立支持部と、 前記頭部における頭部側面及び頭頂面のうちの一方と、前記胴体部における胴体部側面とに設けられ、前記載置面に載置することにより横立状態が得られる横立支持部と、を備える木製フィギュア。
- [請求項2] 請求項1記載の木製フィギュアであって、 前記頭部における前記頭頂面に設けられ、前記載置面に載置することにより倒立状態が得られる倒立支持部を備える木製フィギュア。
- [請求項3] 請求項1または請求項2記載の木製フィギュアであって、 前記頭部における頭部正面及び前記胴体部における胴体部正面が同一平坦面であるとともに、前記頭部における頭部背面及び前記胴体部における胴体部背面が同一平坦面であり、 前記頭部における頭部側面及び前記胴体部における前記胴体部側面が互いに異なる曲率の円弧面であるとともに、前記頭部側面及び前記胴体部側面の少なくとも一部が窪みを形成する木製フィギュア。
- [請求項4] 請求項3記載の木製フィギュアであって、 前記頭部の前記頭部正面に顔面模様が施されているとともに、 前記頭部における前記頭頂面、前記頭部正面、前記頭部側面、前記頭部背面のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部に連続した色彩が施され、 前記胴体部における前記胴体部正面、前記胴体部側面、前記胴体部背面のうちの互いに隣り合う複数の面の少なくとも一部に連続した色彩が施されている木製フィギュア。
- [請求項5] 請求項4記載の木製フィギュアであって、 前記色彩は透視性を有する塗料により施されている木製フィギュア。
- [請求項6] 請求項2記載の木製フィギュアであって、 前記倒立支持部は、前記

頭部における前記頭頂面に設けられた一対の突出部である木製フィギュア。

[請求項7] 請求項6記載の木製フィギュアであって、 前記各突出部における突出部側面が円弧面であるとともに、前記頭部側面及び前記突出部側面の少なくとも一部が窪みを形成する木製フィギュア。

[請求項8] 請求項7記載の木製フィギュアであって、 前記突出部側面が前記頭部における前記頭部側面と異なる曲率の円弧面である木製フィギュア。

[請求項9] 請求項1ないし請求項8のうちのいずれか1項記載の木製フィギュアであって、 前記頭部の幅寸法が、前記胴体部の幅寸法よりも大きい木製フィギュア。

[請求項10] 請求項1ないし請求項9のうちのいずれか1項記載の木製フィギュアであって、 前記頭部及び前記胴体部のうちの少なくとも一方は、人物、動植物、キャラクターのうちのいずれか1つを模した輪郭形状である木製フィギュア。

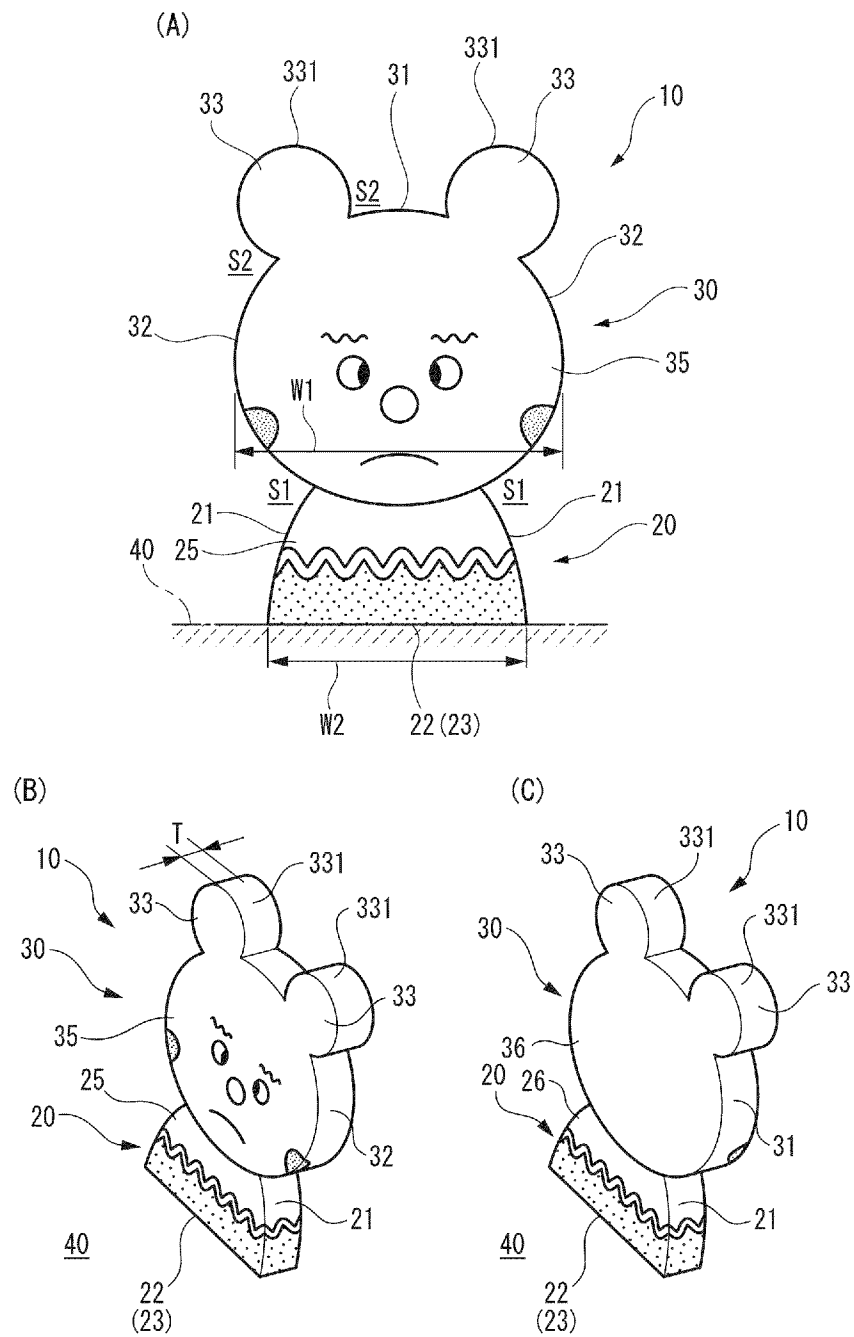
[請求項11] 請求項1ないし請求項10のうちのいずれか1項記載の木製フィギュアであって、 前記頭部の輪郭形状及び前記胴体部の輪郭形状は、他の種類の木製フィギュアにおける頭部の輪郭形状及び胴体部の輪郭形状と異なる木製フィギュア。

[請求項12] 請求項1ないし請求項11のうちのいずれか1項記載の木製フィギュアであって、 前記横立支持部は、他の種類の木製フィギュアにおける横立支持部と異なる位置に設けられている木製フィギュア。

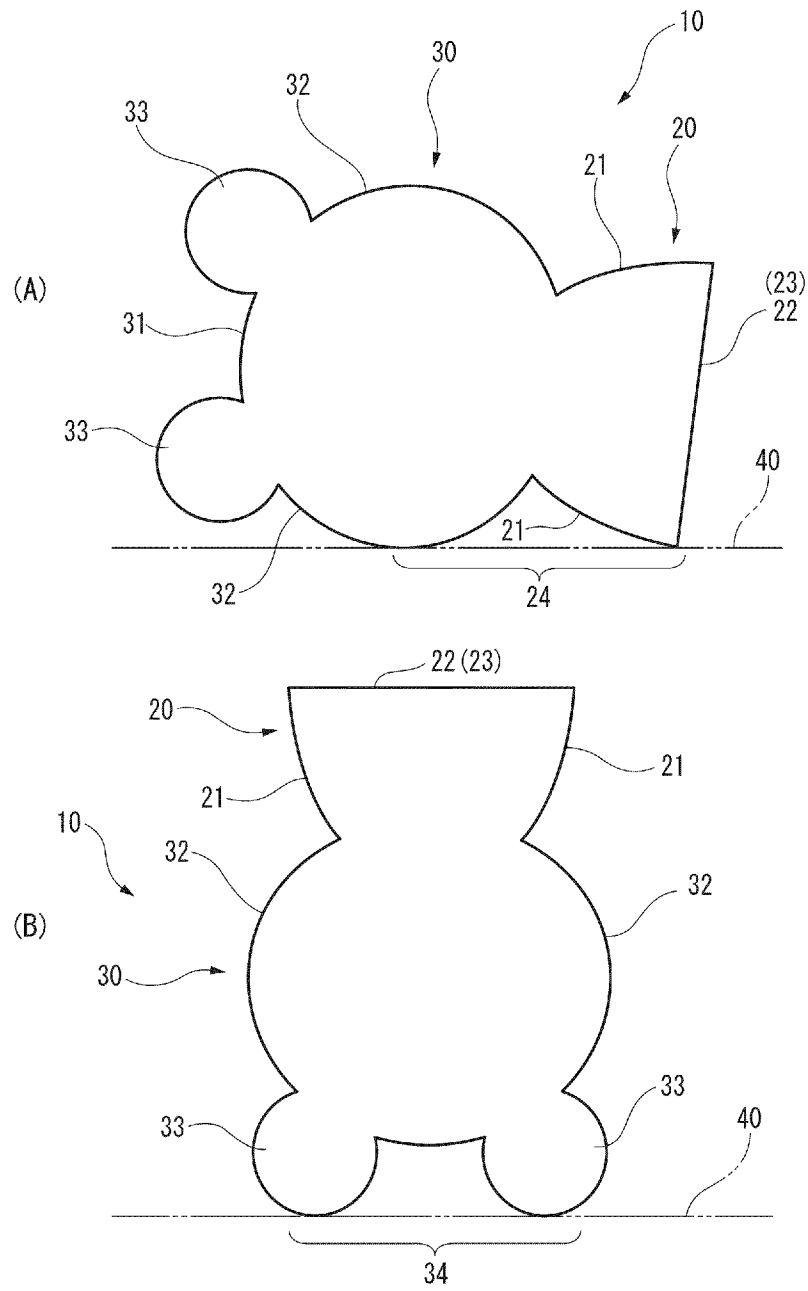
[請求項13] 請求項1ないし請求項12のうちのいずれか1項記載の木製フィギュアであって、 他の種類の木製フィギュアと、厚み方向及び厚み方向に対して直交する方向に沿って重畳可能である木製フィギュア。

[請求項14] 請求項3記載の木製フィギュアであって、 他の種類の木製フィギュアと、厚み方向に対して直交する方向に沿って前記窪みを介して重畳可能である木製フィギュア。

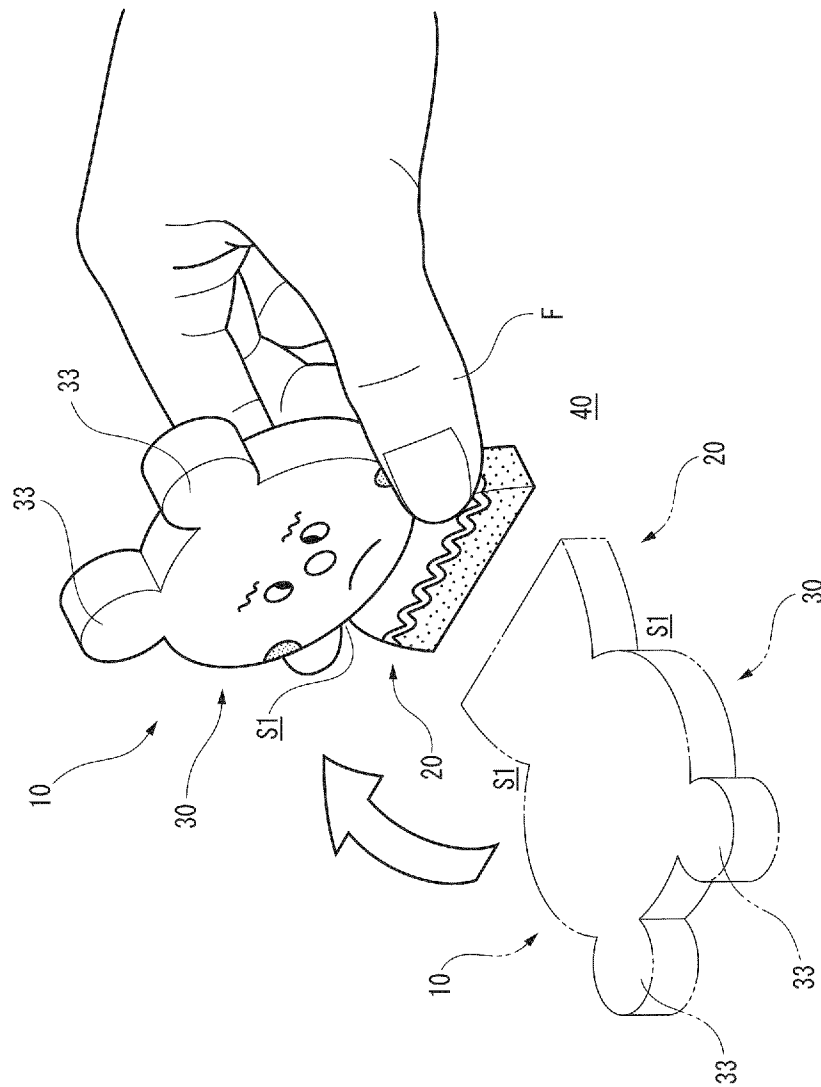
[図1]



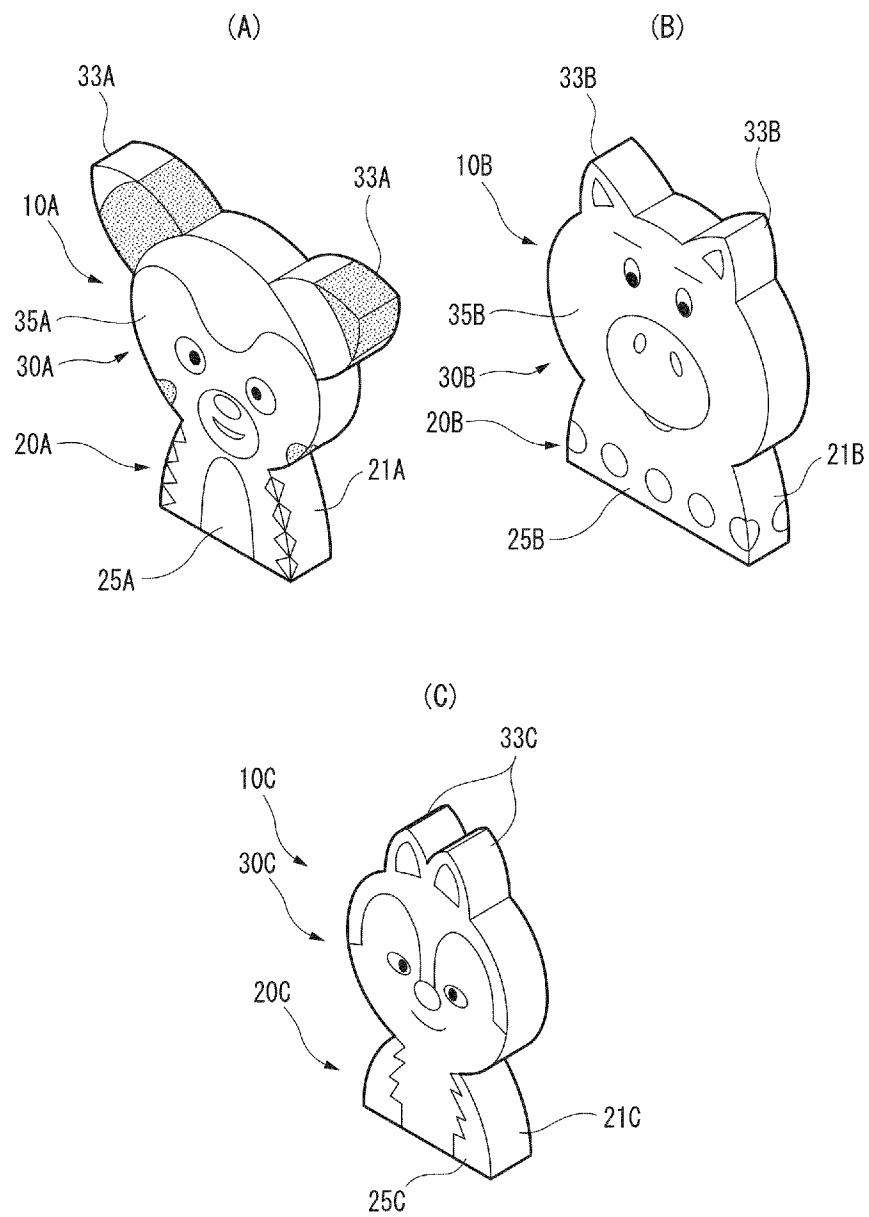
[図2]



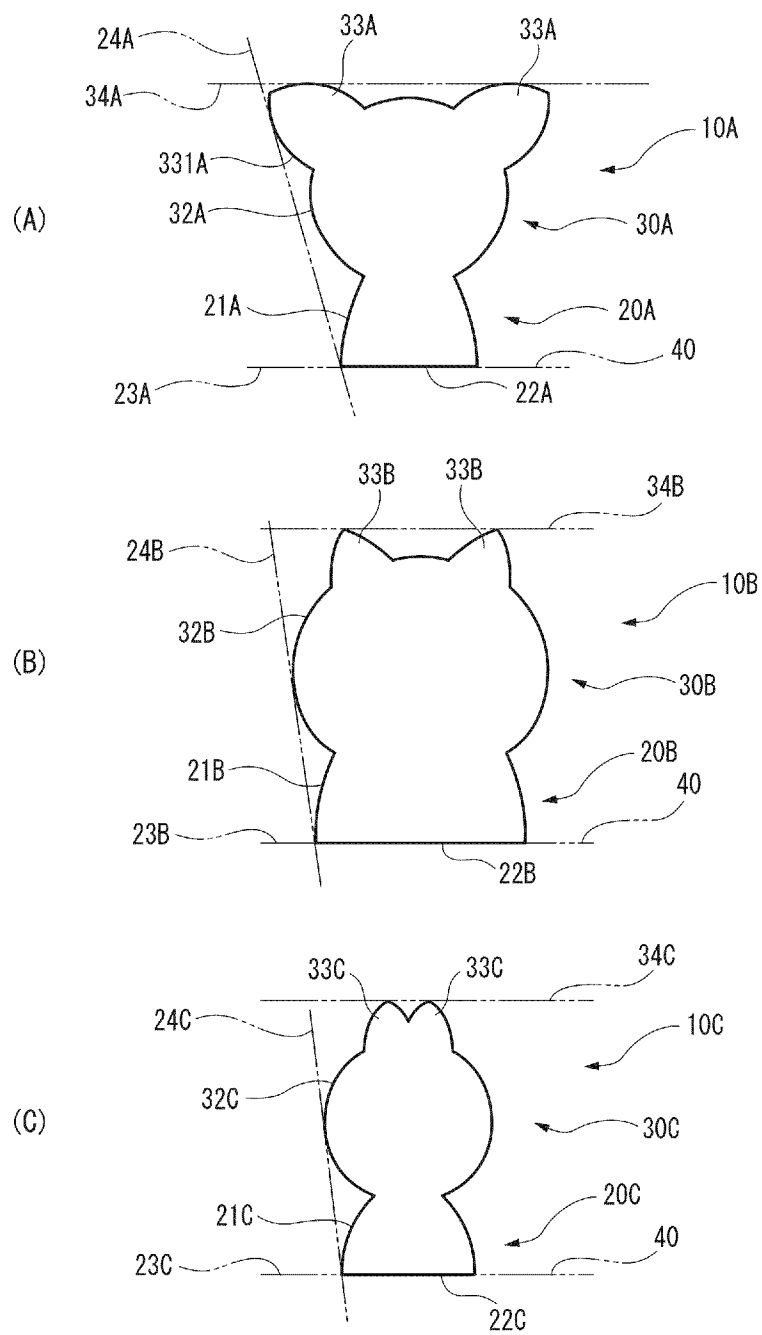
[図3]



[図4]



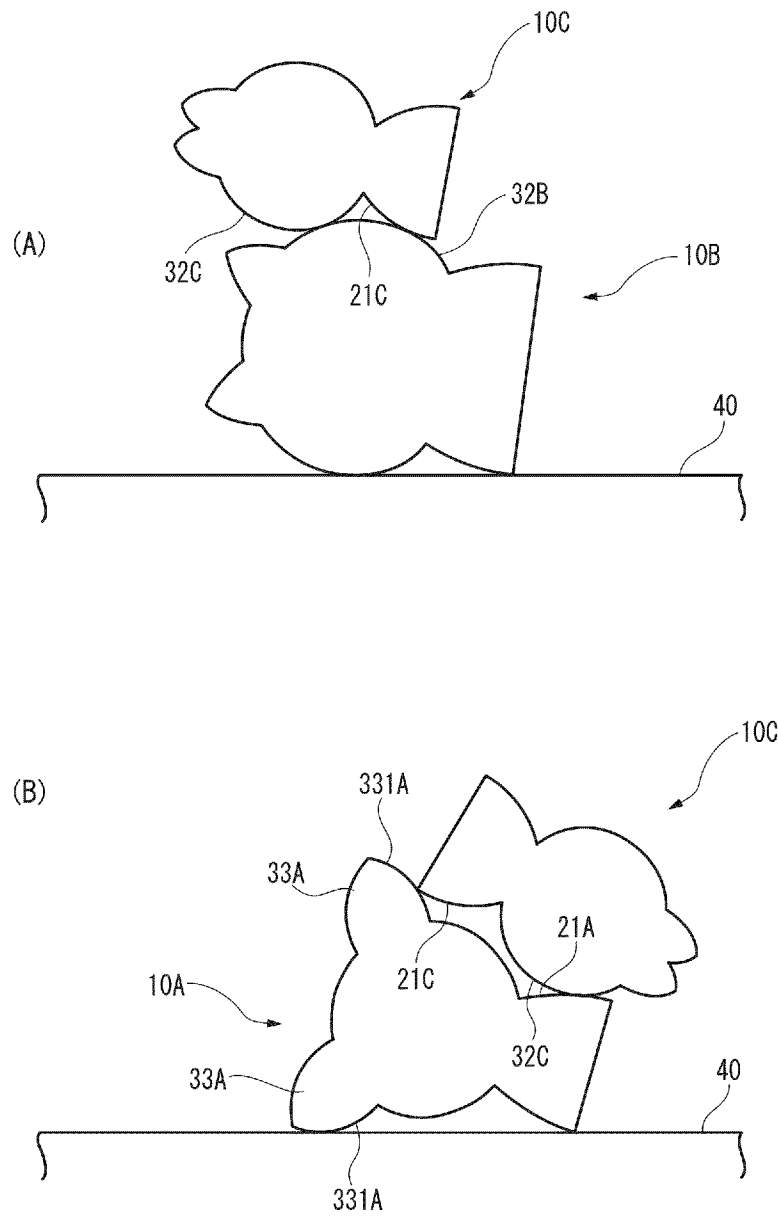
[図5]



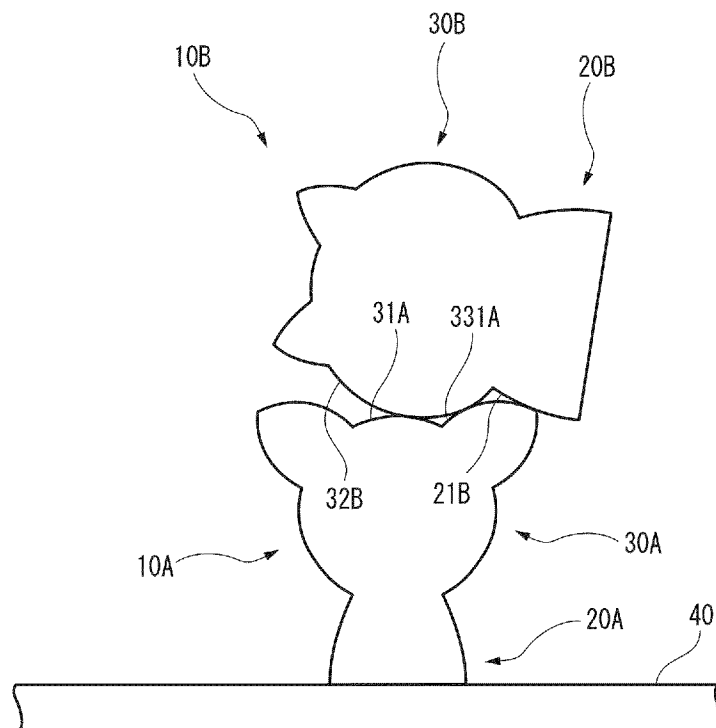
[図6]

整理番号S107312

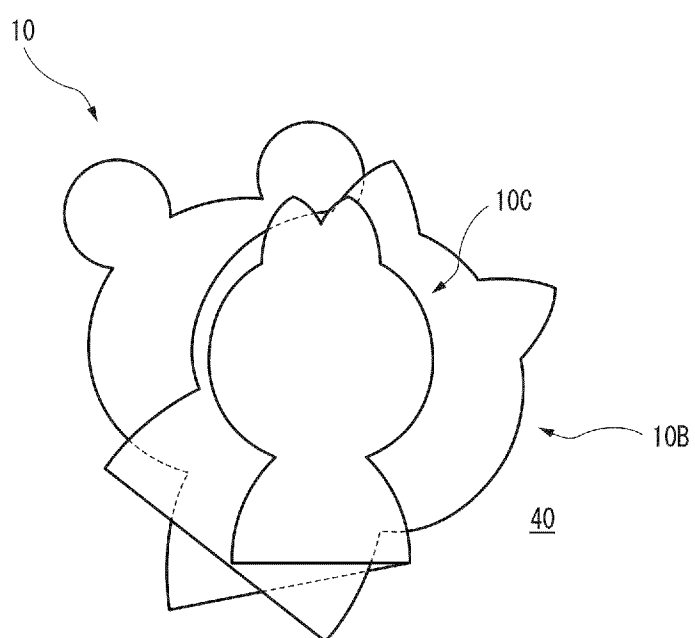
【図6】



[図7]



[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/002220

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63H9/00(2006.01)i, A63H3/00(2006.01)i, A63H3/36(2006.01)i, A63H33/04(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H9/00, A63H3/00, A63H3/36, A63H33/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2017
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2017	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2017

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	15 Hiki no Chuchu Zatsugidan de gozai, Kodomo ga Yorokobu♪ Tezukuri Ehondana no Omise 'Hito to Ki', 19 June 2015 (19.06.2015), [online], retrieval date 23 February 2017 (23.02.2017), URL: http://hitotokiblog.hateblo.jp/entry/2015/06/19/161950	1-2, 6-10 11-13
X Y	[Okyakusama no Koe] *Tsumitsumi Koala no Circus-Dan* Haruru-Sama yori Ureshii Comment o Itadakimashita!!, Kodomo ga Yorokobu♪ Tezukuri Ehondana no Omise 'Hito to Ki', 06 August 2015 (06.08.2015), [online], retrieval date 23 February 2017 (23.02.2017), URL: http://hitotokiblog.hateblo.jp/entry/2015/08/06/123620	1-2, 6, 9-10 11-13

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
08 March 2017 (08.03.17)

Date of mailing of the international search report
21 March 2017 (21.03.17)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/002220

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Dobutsu Tsumiki, Kobo Charinko kara Ki no Nukumori o Otodoke shimasu, 13 August 2015 (13.08.2015), [online], retrieval date 23 February 2017 (23.02.2017), web archive at the time of 13 August 2015 (13.08.2015), URL: http://web.archive.org/web/20150813225234/http://charin-ko.com/index.php?%E5%8B%95%E7%89%A9%E7%A9%8D%E6%9C%A8	1-14
A	Mori no Dobutsumiki, Ki no Omocha, Zakka no Omise Tenchirin, 28 February 2015 (28.02.2015), [online], retrieval date 23 February 2017 (23.02.2017), web archive at the time of 28 February 2015 (28.02.2015), URL: http://web.archive.org/web/20150228013025/http://www.tenchirin.co.jp/?pid=60131349	1-14
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 150744/1975 (Laid-open No. 064097/1977) (Yugen Kaisha Sekkei Kojo), 12 May 1977 (12.05.1977), entire text; all drawings (Family: none)	1-14
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 033898/1978 (Laid-open No. 138791/1979) (Mutsuhiko HAYASHI), 26 September 1979 (26.09.1979), entire text; all drawings (Family: none)	1-14
A	JP 3136638 U (Kabushiki Kaisha Kumon Shuppan), 01 November 2007 (01.11.2007), entire text; all drawings (Family: none)	1-14

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A63H9/00(2006.01)i, A63H3/00(2006.01)i, A63H3/36(2006.01)i, A63H33/04(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A63H9/00, A63H3/00, A63H3/36, A63H33/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2017年
日本国実用新案登録公報	1996-2017年
日本国登録実用新案公報	1994-2017年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	15匹のチューチュー雑技団でござ〜い, 子どもがよろこぶ♪手づくり絵本棚のお店「人と木」, 2015.06.19, [online], 2017年2月23日検索, URL: http://hitotokiblog.hateblo.jp/entry/2015/06/19/161950	1-2, 6-10 11-13

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.03.2017

国際調査報告の発送日

21.03.2017

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

奈良田 新一

2D

3805

電話番号 03-3581-1101 内線 3241

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	[お客様の声] ☆つみつみコアラのサーカス団☆はるる様より嬉しいコメントをいただきました！！, 子どもがよろこぶ♪手づくり絵本棚のお店「人と木」, 2015.08.06, [online], 2017年2月23日検索, URL: http://hitotokiblog.hateblo.jp/entry/2015/08/06/123620	1-2, 6, 9-10 11-13
A	動物積木, 工房茶輪子から木のぬくもりをお届けします, 2015.08.13, [online], 2017年2月23日検索, 2015年8月13日時点のウェブアーカイブ, URL: http://web.archive.org/web/20150813225234/http://charin-ko.com/index.php?%E5%8B%95%E7%89%A9%E7%A9%8D%E6%9C%A8	1-14
A	森のどうぶつみき, 木のおもちゃ、雑貨のお店てんちりん, 2015.02.28, [online], 2017年2月23日検索, 2015年2月28日時点のウェブアーカイブ, URL: http://web.archive.org/web/20150228013025/http://www.tenchirin.co.jp/?pid=60131349	1-14
A	日本国実用新案登録出願50-150744号(日本国実用新案登録出願公開52-064097号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(有限会社設計工場) 1977.05.12, 全文全図(ファミリーなし)	1-14
A	日本国実用新案登録出願53-033898号(日本国実用新案登録出願公開54-138791号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(林睦彦) 1979.09.26, 全文全図(ファミリーなし)	1-14
A	JP 3136638 U (株式会社くもん出版) 2007.11.01, 全文全図(ファミリーなし)	1-14